

2019年6月10日 第278号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センター「9の日」宣伝

安倍改憲 NO! 参院選で政治を変えよう!

憲法共同センターは6月7日昼、新宿駅西口で「9の日」宣伝を行い9団体 18人が参加しました。時折、激しい雨が降っていましたが、5人の弁士の熱のこもって訴えとスタンディングでアピールしました。

全日本民医連の宮澤常駐理事の司会で進行。全国革新懇の五十嵐代表世話人は、「元号が変わって騒いでいるが、何も変わらない。政府を変えよう。変えるための絶好のチャンスが参議院選挙。安倍改憲阻止のために立憲野党の議席を伸ばし、安倍政権にさようならをしよう」と訴えました。

全労連の小田川議長は「安倍首相は参議院選で9条改憲を争点にすると言っている。改憲する必要はないという民意に挑戦するものだ。憲法の主権者は私たち。政治家が勝手気ままに憲法をもてあそぶことを認めない。憲法守れの声を大きくしよう」と呼びかけました。

農民連の町田さんは、CM規制をしないことなど国民投票法案について批判。企業参入などをすすめる安倍首相の農政について批判しました。

自由法曹団の尾崎弁護士は「安倍首相は憲法9条に自衛隊を書き込むだけと言うが、アメリカと一緒に戦争することになる。アメリカの戦闘機などを爆買いする一方で消費税を10%に引き上げ、国民に増税を押し付ける。爆買いはやめるべき」と批判。「特定秘密保護法、共謀罪法、戦争法の強行など、憲法違反を続ける安倍首相に憲法を変える資格はない。安倍改憲を阻止しよう」と訴えました。

全労連の長尾副議長は「丸山議員の『戦争するしかない』との発言があったが、いとも簡単に戦争を口にする議員がいる。戦争賛美の声にぬり変えられる危険性がある。戦争の犠牲の上に、二度と戦争を繰り返さない憲法ができた。大切に守って、伝えなければならない。憲法を変えるのではなく、政治を変えよう」と訴えました。



朝鮮半島と日本に非核・平和の確立を!

日比谷野音集会・デモ&シンポジウム 市民連帯行動を実施

「朝鮮半島と日本に非核・平和の確立を!」市民連帯行動実行委員会は、6月7日夜に日比谷野音音楽堂での集会・銀座デモ(1000人参加)、8日に星陵会館においてシンポジウム(300人参加)を開催しました。市民連帯行動は、「東北アジアに非核・平和の確立を!」「安倍政権は平和の流れを

邪魔するな!」「日本政府は核兵器禁止条約を支持し、批准を!」「加害の歴史を直視し、過去の清算を!」「日本軍『慰安婦』課題、徴用工課題の解決!」「日朝国交正常化を!」「在日韓国・朝鮮人の人権の確立!」「朝鮮高校の授業料無償化の実現を!」「日本国憲法9条破壊反対!」「日韓・日朝市民の連帯と共生!」の要求のもと、行われました。

時折、小雨が降る中開かれた日比谷野音集会では、総がかり行動実行委員会の高田健共同代表が主催者あいさつ。「米朝関係は大きく前進しているのに、安倍首相はそれと逆行し、憲法を改悪しようとしている。それは、非核・平和の障害になる。安倍政権を倒すことなくして北東アジアの平和は成しえない」と強調しました。

民主労総のオム・ミギョン副委員長は「韓国の人たちにも、日本の人たちにも歴史の傷・痛みは残っており、誤解の火種となっている。心合わせ、解決していこう。韓国と日本を米軍の東北アジアの前線基地にしてはいけない。アメリカの軍事派遣に手をとり合ってたたかおう」と呼びかけました。



8日のシンポジウムは、総がかり行動実行委員会の福山真劫共同代表をコーディネーターに、以下の課題について話されました。

- ・日本と北朝鮮(朝鮮)の関係正常化は東アジア平和の核心的課題—イ・ブヨンさん(市民平和フォーラム)
- ・朝鮮半島と東北アジアの平和実現のために—ハン・チュンモクさん(韓国進歩連帯)
- ・ハノイ会談をめぐる評価と非核・平和への道筋—朝鮮の視点から—リ・ビョンフイさん(朝鮮大学校)
- ・東北アジアの軍縮と平和のための韓国と日本の課題—シン・ミジさん(参与連帯平和軍縮センター)
- ・東北アジアの平和と非核への歴史的変化を作りだそう—求められる市民社会の監視と行動—湯浅一郎さん(ピースデポ)
- ・日韓国交正常化こそ日本が韓国を見ならって米朝平和プロセスに参加する道だ—和田春樹さん(日朝国交正常化連絡会)
- ・植民地支配と過去清算—庵途(あんどこ)由香さん(立命館大学)

●埼玉 オール埼玉総行動に1万2000人

ついに決戦のときが来た!

埼玉で与野党逆転を!

6月2日、北浦和公園に途切れることなく人波が続き、「オール埼玉総行動」は会場満員の1万2000人が集い、安倍9条改憲阻止、参院選勝利を誓い合いました。

吉澤俊一・埼玉弁護士会会長の力強いあいさつに続き、連合、労連の後援団体のスピーチは参院選決起集会のような選挙の話題一色になりました。ゲストスピーカーの伊藤千尋さんは「憲法9条を広め、日本が世界平和の先頭に」と訴え、立憲、国民、共産、社民党代表からは共通して、「埼玉で与野党逆転、3議席を!」と決意が語られ、参加者が熱いコールで応え、2コースに分かれてパレードしました。

